

PFFアワード2022
グランプリ受賞

J005311

野村一瑛、河野宏紀

監督・脚本・編集：河野宏紀

撮影：さのひかる 録音：榊 祐人 整音：榊 祐人、河野宏紀 衣装：河野宏紀、野村一瑛

撮影協力：ROCKY、和田裕子、谷口巴恵 英語字幕：薩山歩美 字幕チェック：Janelle Bowditch 英語字幕データ制作：廣田孝
配給：太秦 ©2022『J005311』製作委員会（キングレコード、PFF）

【2022年／日本／カラー／DCP／90分】 j005311.com

どこいぎやいいんだよ
絶望の淵で彷徨う ふたつの魂——。
静かなる衝突が生んだ、切望の物語。

第44回ぴあフィルムフェスティバルで

満場一致のグランプリ受賞！

この作品を生まないとい
次に進めないという作品が
どの監督にもあると思いますが、
『J005311』こそが
そんな魂の映画だったと思います。
覚悟のある、優しさで打ち負かす映画
だったと心から思いました。

三島有紀子（映画監督）

STORY 神崎（野村一瑛）は何か思い詰めた表情で、街へ出かける。タクシーが捕まらず、背中を丸め道端に座り込んでいると車道越しにひたたり現場を目撃。一心不乱に走り出した神崎は、ひたたりをしていた山本（河野宏紀）に声をかけ、100万円を渡す代わりにある場所へ送ってほしいと依頼する。山本は不信に思いつつも渋々承諾し、二人の奇妙なドライブが始まった。気まずく重い空気が漂う中、孤独な二人が共に過ごす歪な時間。この旅路の行きつく先は――。

INTRODUCTION タイトルの『J005311』は、光ることなく浮遊していた二つの星が、奇跡とも呼ばれる確率で衝突し、再び輝き出した星をもとに名づけられた。

神崎演じる新人俳優・野村一瑛と、今回初監督に挑みながら山本を演じた河野宏紀の限られたセリフと声にならない掛け合いがスクリーンにいっぱい共鳴する。生きづらさを抱えた己を投影し作り上げた本作は、居場所を見つけれず彷徨い、世間に取り残された孤独感を痛々しく描き切り、第44回ぴあフィルムフェスティバルで満場一致のグランプリを受賞した。その後、開催された東京国際映画祭でも上映され、大きな話題を呼んだ本作がいよいよ劇場公開となる。

映画を命がけて撮っていた、
映画に人生の全てを捧げた
青山真治の横にいた者として、
映画とは「マジ」、つまり本気を感じられる
作品が心に響くと思っている。
この映画で長回しに挑戦し、
音楽にも頼らず、「一生懸命つくる」という
「マジ」を見せてくれてありがとうございます。
——とよた真帆（俳優）

野村一瑛、河野宏紀

監督・脚本・編集：河野宏紀
撮影：さのひかる 録音：榎祐人 整音：榎祐人、河野宏紀 衣装：河野宏紀、野村一瑛
撮影協力：ROCKY、和田裕子、谷口巴恵 英語字幕：藤山歩美
字幕チェック：Janelle Bowditch 英語字幕データ制作：廣田孝
配給：太秦 ©2022『J005311』製作委員会（キングレコード、PFF）

【2022年/日本/カラー/DCP/90分】 j005311.com



4月22日(土) ユーロスペース
ほか全国順次公開

—— 全国共通特別鑑賞券1,500円(税込)発売中 ——

渋谷Bunkamura前交差点左折

ユーロスペース
EUROSPACE

tel.03-3461-0211

www.eurospace.co.jp

